

あくね 市議会だより

第4回定例会・第1回臨時会



活気あふれる阿久根(旧)港

発行50周年 200号



魚の水揚げ



完成間近の高松ダム



中央青果市場



市街地風景



にぎわう畜産品評会



阿久根小下に横断歩道橋



駅前通りにアーケード設置

議員定数1名減 4月から……………2
 原発住民投票否決・議員問責……………3
 議員と語る会……………16
 クイズfrom議会だより……………20



左の二次元コードをスマートフォンなどで読み取ると市議会のホームページにリンクします。

二次元コード

阿久根市議会

検索

50年前の阿久根は

港に船が、市場に野菜・魚が、街に子どもがあふれんばかりでした。議会は、人口が減ってもそれに見合う幸せな街づくりを、市民の皆様と共に目指します。

(写真は50年前、昭和44年の市報から)

平成31年2月15日発行 (No.200)

市議会 議員定数

1名減 15名、4月選挙から



16名から15名への議員定数削減を決めた臨時議会

阿久根大島

こじか

阿久根駅

指定管理 4月から3社に

市議会議員定数

議員定数等調査特別委員会は、1議席減の15議席が妥当とすることを決し、1月に開催された臨時議会で、議員定数に関する条例の改正を審議、可決しました。本年4月の市議会議員選挙から適用されます。
(6・7・10頁参照)

市有3施設 指定管理者を選定

平成31年4月1日を始期とし、「にぎわい交流館阿久根駅」は株式会社あくねや、「市子ども発達支援センターこじか」は社会福祉法人青陵会、「阿久根大島公園」は株式会社日本水泳振興会を指定管理者として指定しました。

30年度一般会計

一般会計予算は、中小学校に空調設備を整備するための費用など約2億4000万円を補正追加し、126億4706万円となりました。

29年度決算

9月本会議に上程され、決算特別委員会に付託、閉会中に審査していた平成29年度の一般会計、国民保険ほか各種特別会計、および水道事業会計の認定に関する議案は、委員長報告の後、本定例会で認定しました。(9頁参照)

(歳出決算額)

- 一般会計 126億9159万円
- 国民健康保険特別会計 38億8321万円
- 簡易水道 4億1830万円

- 交通災害共済特別会計 467万円
- 介護保険特別会計 29億4323万円
- 後期高齢者医療特別会計 3億2574万円
- 水道事業会計(収益) 3億5111万円

専決処分

市道ガードレールのペンキ塗装時に車両汚損があったとして、市が車両所有者に59万円余を損害賠償する専決処分が報告されました。

請願

市による「障がい者青年学級」開設を求める請願は付託された総務文教委員会で、提案者を参考人として意見を聴取し、閉会中の継続審査としました。

人事

2月16日でそれぞれ任期満了となる教育委員の西園敦子氏(潟)と公平委員の中野浩治氏(波留)が再任されました。

原発住民投票案を否決

竹原信一議員 問責決議は 可決



全国でも住民投票について議論がなされている



竹原信一議員問責決議の対象の一つとされたガードレールへの落書き

**川内原発稼働の是非
住民投票条例案
賛成少数で否決**

継続稼働の賛否に加え、政府が原則運転期間とした40年（6年後）以降の稼働賛否を問うことを含む、議員発議の原発住民投票条例案を、賛成少数で否決しました。「九電が稼働の意向を示していない時点では時期尚早」「条例の文案が不十分」などが反対理由です。
(4頁参照)

**竹原信一議員
問責決議案を可決**

竹原信一議員への問責決議は、6回の懲罰など不適切な言動や、本会議・委員会・議員派遣等の欠席の多さ、ガードレールへの落書き、議員報酬に関し市民への誤解を招きかねない発言、議場の写真ネット投稿等を理由に、賛成多数で可決しました。
(4・5頁参照)

**竹原信一議員
自動失職で1名欠員**

竹原信一議員が12月16日、市長選挙に立候補したことにより、同日付けで議員を自動失職しました。この結果、現在議会には1名欠員の15名で運営されています。

**行政・議会の基礎知識
住民投票条例**

地方自治体において住民のうち一定の資格を持つ人の投票により、意思決定を行う条例。結果については、「首長、議会は住民投票の結果を最大限尊重する」などの文言しか記されていない場合も多く、拘束力を伴わない場合がある。

問責決議

首長や議員の不適当な発言や言動に対し、ふさわしくない、責任を問う必要があると議会が判断した場合に提出される。過半数で可決されるが法的拘束力はない。

指定管理者制度

地方自治体が所有する公の施設について、管理、運営を民間事業会社を含む法人やその他の団体に委託することができる制度。民間等のノウハウを導入することで効率化を目指す。

原発住民投票条例案

提出者を渡辺久治議員、賛成者を西田数市議員として提出され、賛成5、反対10で**否決**されました。

渡辺久治議員 提案理由要旨

先日、福島原発事故被災地を視察した。事故から7年半余り、政府の発表等では、「復興」が着実に進んでいるかのよう報道等がなされているが、現実はどうでもない。原発から30km以上離れていても、ほぼ全域が放射線に汚染された浪江町では、いまだに除染作業により発生した放射性物質を満載した多くのダンプカーがひっきりなしに往来するのを目の当たりにした。県内各地の被災地のいたる所に放射線による「帰還困難区域」を示す、たて看板等が見られる。人々の心は、ある意味では被災した当時以上に、すさんでいると言つて過言ではない。最近では、東海第2原発の再稼働を巡り、東海村と周辺5市の首長は、周辺6市内の内、一自治体でも事前に了解しなければ、同原発の再稼働には進まないとの認識で一致した。このように原発の稼働に際しては、周辺自治体の認識というものを問われる機会が、今後ますます増えてくると思われる。阿久根市は、川内原発から30km圏内にほとんどの地域が入る。福島県浪江町の例からしても、川内原発に事故があった場合、被災する可能性を否定する訳にはいかない。周辺自治体としての、認識を問われた時に、その根本となる判断材料とは何だろうか。住民の民意ではないだろうか。住民投票の過程を通すか通さないかでは、自治体としての立ち位置の安定度は天地の差がある。何でもかんでも住民投票をせよ、とは言わないが、このことに関しては、住民の意思を確認しておくべきと考える。阿久根市が原発周辺自治体として、その権利と責任を自覚した揺るぎない態度を確保し、住民の尊厳を守るために、本条例を提案する。

竹原信一議員に対する問責決議案

提出者を白石純一議員、賛成者を野畑直、大田重男、濱田洋一、濱崎國治、濱之上大成、仮屋園一徳、岩崎健二、渡辺久治、西田数市の各議員として提出され、賛成12、反対1で**可決**されました。(決議文 次ページ)

白石純一議員 提案理由要旨

竹原議員が常々口にされる「議会は行政のチェック機能を果たさなければならぬ、市民に寄り添わなければならない」という信念には敬意を表したい。が、その言葉と裏腹に、法律や議会のルールを守らない姿勢、議会秩序を乱し、同僚議員や行政職員の人格を侮辱する言動は、先の崇高な理念とのギャップが尋常ならざるもので、市長も務めた政治家としての自覚を著しく欠く行動が次(問責決議1〜8…次頁)のとおり、散見された。議員は、法令順守や資質向上に努め、子供たちを含む市民の代表としてふさわしい政務活動を求められるが、竹原議員の言動はこれらに背くもの。任期中の総括として最終の3月議会に当問責決議を提案する考えも、同議員の12月の自動失職により3月議会で在籍していない可能性があり、今本会議に提案した。

竹原信一議員 弁明要旨

過去6回の懲罰はよくわからない話だ。本会議の欠席は届けをしており、ルールを守っていないというのはおかしい。頻度が著しいとは思わない。一身上の都合もあるし、忘れて出てこないこともよくある。所管事務調査は旅行だと印象を持っている。十分前調べをして、必要な人が行けばいい。ガイドレールは、ぼろぼろにしてしまう。市がやっていないことが問題。市議会の議員は減らさず、報酬を上げる。視察旅行は公費を使う。旅行という言葉に偏見がある。市長時代、日当制専決処分したにもかかわらず自分が供託をしないことを、問責の理由にするのはおかしい。議場内の写真を撮ったのは休憩時間だった。議場内で、議員に詐欺師だと言ったのは、うそを言ったから。

竹原信一議員に対する問責決議

(前文:提案理由-4ページ-と要旨重複のため省略)

竹原信一議員に対し、阿久根市議会及び市議会議員に対する市民の信頼を著しく失墜させた責任を問うとともに、市民の代表者として強い責任感を認識することを求め、問責する。

記

1. 本会議中、不適切な言動により計6回の懲罰を受けた。
2. 本会議を、体調不良や親族の冠婚葬祭などのやむを得ない理由以外での欠席、また直前の議会事務局へのメール送信など把握困難かつ一方的な連絡のみで会議規則に定める議長への事前の届け出を怠る欠席など、計3回、いずれも議案が上程される重要な本会議初日に欠席し、議長の出席要請にも従わなかった。また、委員会も計3回欠席しており、これらの本会議、委員会欠席の頻度は他議員に比べ著しく高い。
3. 議会の議員派遣、常任委員会の委員派遣に多くの議員がほとんど応じているなか、その50%近くを欠席、議員派遣の行事、委員会の行政視察や研修に基づく審議に支障をきたしている。また欠席には無断欠席もあり、社会通念上許されるものではない。加えて、これらの議員・委員派遣を行楽と印象づけるような表現で非難し、市民に、議員・委員派遣に対し誤解を招く発言を行っている。
4. 市の公共物であるガードレールに錆止めと称し必要以上のペンキ塗布を行い、市の道路行政を阻害しているほか、ガードレールに個人的なメッセージを落書きし、また同ガードレールに同僚議員の本会議での発言の一部のみを本人の同意なく恣意的に引用した張り紙をするなど、器物損壊、軽犯罪法違反、名誉棄損にも問われかねない行動をしながら、自らの違法行為を行政に責任転嫁する発言を議会他で繰り返している。さらに、上述の委員会派遣による所管事務調査を欠席した日にガードレールへのペンキ塗布を行っていたとされる。加えて、ペンキ塗布したガードレールの原状回復を求める市の2回の通知にも従っていない。



5. 「議員報酬が上がり続けている」との発言を報道機関のインタビュー等で行っているが、日当制導入期間および平成25年10月から27年3月までの期間を除き、議員報酬月額は、日当制導入以前の平成11年から変わっておらず、政府人事院勧告に従い一時金の料率で、日当制廃止後の7年間では年間0.35カ月の増額があるが、同期間、平成23年から調査直近の平成29年の鹿児島県の消費者物価指数の上昇率が3.8%であるのに対し、一時金を加えた議員報酬年額の上昇率は2.3%と物価変動を下回っており実質報酬は下がっているとも言えることから、上がり続けているとの発言は誇大であり、市民に誤解を与えかねない。
6. 自らの市長時代に議員の日当制を専決処分を導入したにも関わらず、自身が議員になってからの今任期中、日当制を一切主張することなく、従来の報酬制度に基づく報酬を、供託等行わず満額受領している。
7. 禁止されている、議場内の同僚議員個人の写真撮影を行い、ネット上に掲載した。
8. 議場内外で、政策、議会運営にかかわる議員同士の意見交換時等に他議員を、公衆の面前で不穏な言葉で罵倒すること等があり、名誉棄損にも繋がり得るものである。

以上

原発住民投票条例

賛成 渡辺久治議員

アメリカや我が国の中枢は、開発の段階で、原子力発電所が一旦事故を起こせば、日本の国家予算を超えるような被害が出ることを認識していたことが明らかになっていく。つまり、チェルノブイリや福島のような事故は想定内だったのである。国は、福島の事故の後も、次々と原発の再稼働を目指している。今の国のエネルギー政策は、まるで自殺願望のようにしか見えない。狭い日本のどこかで、あのような事故がもう1回起きてしまったら、日本はもう立ち直れないと思う。阿久根は、川内原発からほとんどの地域が、30km圏内に入る。「私達はどのような世界に住みたいのか」阿久根から世界へ情報発信しようではないか。そのため第1歩が「住民投票条例」である。

議員各位のご賛同をお願いする。

賛成 西田数市議員

私は議員になる前から、行政は住民の意見を聞いてかじ取りをしていかなければならないと思っていた。議員になって最初の定例会に2番議員から今回と同趣旨の住民投票条例を提案するから、賛同議員になつてもらえないか頼まれた。私は川内原発の稼働には反対の立場ではないが、こういう大切なことは住民の方の意見を聞くことが大切だと考え賛同した。そして今回の議案第54号にも同様な立場で賛同するものである。

私の政治理念は、百の論議よりも一つの行動である。その理念の下、これまで3年半、理屈よりも行動あるのみでやってきた。今のうちから住民の皆さんの民意を知っておくことが、隣接自治体として大切なことだ。私はこの住民投票条例案で十分実効性があり、住民の皆さんの民意をくみ取ることができると思う。賛同をお願いする。

賛成 白石純一議員

3年前、稼働中の原発への賛否は、地域の経済活動に多大なインパクトが避けられず、現実的には難しいと判断した。今回は、稼働への賛否に加え、運転40年以降の稼働への意思表示が設けられたことを評価する。条例案としての不備を指摘されたが、不足部分は

も行動あるのみでやってきた。今のうちから住民の皆さんの民意を知っておくことが、隣接自治体として大切なことだ。私はこの住民投票条例案で十分実効性があり、住民の皆さんの民意をくみ取ることができると思う。賛同をお願いする。

論

賛成

R

討論とは

野畑 直議員
野畑 直議員
野畑 直議員

賛成 竹原信一議員への問責決議

条例実施のための規則で補うことも不可能ではない。川内原発の運転開始から40年後まで6年ないし7年という期間は、そこで廃炉が選択されるのであれば、代替エネルギーへの切り替え、原発依存の産業からのシフトに備えるため、一刻も早く動き出さなければ間に合わない。運転40年を間もなく迎える原発のその後についても市民の考えを問うことは早すぎず、遅きに失することなきよう迅速な行動が求められる。

議会の会議において採決の前に、議題となつている案件に対し賛成か反対かの自己意見を表明すること。

議員定数等の条例改正

賛成 白石純一議員

市の人口規模等から一定の定数が必要だと考えもある一方で、財政健全化のために議会が身を切る覚悟も必要との考えに賛成する。そして1、2名減しても議会の機能は損なわれなさと感じる。

そこで何名が適正か。全国の1.5〜2.5万人の41市のそれぞれの人口、面積、人口密度、標準財政規模と議員定数との間に相関関係があるか、統計的手法で分析したところ前3項目と議員定数に強い相関関係は見受けられないが、標準財政規模と定数の間には信頼しうる相関関係が見られた。

行政の規模を示す標準財政規模と、それをチェックする議員の定数に相関関係があることは納得できるものだ。その公式に阿久根市の標準財政規模を当てはめると、14・9人という数値になる。この分析より、現状より1減の議員定数

反対 濱崎國治議員

私は民意を問うための住民投票は、民意を把握する制度としてある面では必要なこともあり、否定するものではない。

しかし、この住民投票条例には多くの疑義があり、また欠陥があり、到底賛成できる内容ではない。ましてや、現在の九州電力から川内原発の継続稼働を行いたい旨の明確な表明がない中、また、原発立地市の薩摩川内市や県の考えも明らかでない中では、必要性に乏しいと言わざるを得ない。

今の市議会に必要なことは、九州電力が現在稼働中の川内原発の情報公開を積極的にを行い、安全対策の徹底した稼働と事故の起きないような安全運転を強く求めることであり、信頼される原子力発電対策や安心・安全な電力の安定供給など、市民生活の安心・安全を守ることだと思う。

議員の皆さん方の御賛同をお願いする。

討議案

0

反対



単に自己の賛

否の意見を明ら

かにするだけでなく

意見の異なる相手を

自己の意見に同調さ

せようと努めること

にその意義がある。

(地方議会運営辞典抜粋)

反対 竹原恵美議員

この提案は、原発の稼働に対して市民の意思を明らかにするという点で、阿久根市は同意権もなく市民の意見を明らかにできずに来た中で私はこの条例の趣旨に賛同の考えを持っていた。しかし、このままの条例の内容では住民投票することはできないと考える。

る状況をつくること。加えて、阿久根市が東海第2原発周辺自治体と同じように原発の稼働と延長運転に対する同意権を含んだ新しい安全協定を結ぶことを提案して、この条例に反対する。

原発運転期間延長の申し出は40年が経過する日の1年3カ月前からの3カ月の間に電力会社が申し出をする必要があることから、住民投票は来年度以降単独で行う、または、4年先の選挙と同時に

に行うよう提案されること。そしてその前に市民の知識を高めて判断でき



H29年度一般会計決算

反対 竹原信一議員

阿久根市役所は人件費や身の丈を超えるぜいたくな建造物に税金を浪費している。増税して市民生活を圧迫してきている。4年前にはおれんじ鉄道は阿久根駅の契約を一方的に破棄し、半年で撤退した。反省ができていない。社会的な生産性を上げられないような事業は失敗だと、もう気づいてもらいたい。西平市長に悪意があるとは言わないが、経営能力がなく、成り行き任せだ。失敗の取り繕いにさらなる浪費をする始末。にも関わらず、市民には増税して自分の報酬は上げてきた。反省を知らないで、役所は傲慢になって市民は自身を失っている。市長や議員は経営的センスを持っていなければいけない。みんなで渡るから怖くない、こういう状態に陥ってしまふ役所の監視役ができないければいけない。当決算は認定に値しない。

15人に賛成する。

反対 渡辺久治議員

今回の特別委員会の流れ、私には一部住民の極端な意見に迎合して、ほとんど議論を交わすことなく、早急に結論を出したように思えてならない。議員定数は、市議会にとつて極めて大切である。これは、議員の任期を1年以上残した時期に結論を出すくらいに余裕をもって、これまた1年くらいの時間をかけて、委員会構成なども論議し、無作為の市民アンケートなども実施した上で、決めるべきだと思う。結果としては、今回と同じような結論が出るかもしれない。しかし、そのような過程を通すか通さないかでは、議会の自立性という観点からは雲泥の差があると思う。そういう訳で、これは、今回の市議会改選後の早い時期に、特別委員会等を立上げ、調査・議論を尽くした上で結論を出していくべきと考える。

平成30年第4回定例会 議案・審議・議決結果

議案等番号	内容	議員名（議席番号順）														議決結果		
		白石純一	渡辺久治	濱田洋一	西田数市	竹原信一	仮屋園一徳	竹原恵美	中面幸人	大田重男	濱崎國治	牟田学	岩崎健二	濱之上大成	山田勝		野畑直	木下孝行
認1	平成29年度阿久根市歳入歳出決算認定（一般会計）	◇	◇	◇	◇	◆	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	—	認定
認2	平成29年度阿久根市歳入歳出決算認定（国民健康保険特別会計）	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	—	認定
認3	平成29年度阿久根市歳入歳出決算認定（簡易水道特別会計）	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	—	認定
認4	平成29年度阿久根市歳入歳出決算認定（交通災害共済特別会計）	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	—	認定
認5	平成29年度阿久根市歳入歳出決算認定（介護保険特別会計）	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	—	認定
認6	平成29年度阿久根市歳入歳出決算認定（後期高齢者医療特別会計）	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	—	認定
認7	平成29年度阿久根市水道事業会計の決算の認定	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	—	認定
報10	議会の委任による専決処分の報告	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	（報告）
報11	専決処分の承認（平成30年度阿久根市一般会計補正予算（第3号））	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	—	承認
議46	教育委員会の委員の任命	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	—	同意
議47	公平委員会の委員の選任	◇	◇	◇	◇	◆	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	—	同意
議48	にぎわい交流館阿久根駅の指定管理者の指定	◇	◇	◇	◇	◆	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	—	可決
議49	阿久根市子ども発達支援センターこじかの指定管理者の指定	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	—	可決
議50	阿久根大島公園の指定管理者の指定	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	—	可決
議51	阿久根市地方活力向上地域における固定資産税の不均一課税に関する条例の一部を改正する条例の制定	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	—	可決
議52	平成30年度阿久根市一般会計補正予算（第4号）	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	—	可決
議53	平成30年度阿久根市介護保険特別会計補正予算（第1号）	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	—	可決
議54	川内原子力発電所1・2号機の継続稼働に関し阿久根市民の民意を問う住民投票条例の制定	◇	◇	◆	◇	◇	◆	◆	◇	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	—	否決
決3	竹原信一議員に対する問責決議	◇	◇	◇	◇	—	◇	—	◆	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	—	可決
	請願第1号 阿久根市による「障がい者青年学級」開設に関する請願書について閉会中の継続審査を求める件	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	—	決定

【表の見方】 認：認定 報：報告 議：議案 決：決議 *：全会一致 ◇：賛成 ◆：反対 —：表決権なし
 ○木下孝行議員は議長職のため特別多数議決以外の議案については、表決（賛成、反対の意思表示）権はありません。
 ○決議第3号については、本人及び親族である議員は参与できないため表決権はありません。

平成31年第1回臨時会 議案・審議・議決結果

議案等番号	内容	議員名（議席番号順）														議決結果	
		白石純一	渡辺久治	濱田洋一	西田数市	仮屋園一徳	竹原恵美	中面幸人	大田重男	濱崎國治	牟田学	岩崎健二	濱之上大成	山田勝	野畑直		木下孝行
議1	阿久根市議会議員定数条例及び阿久根市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定	◇	◆	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	—	可決

【表の見方】 議：議案 ◇：賛成 ◆：反対 —：表決権なし
 ○木下孝行議員は議長職のため特別多数議決以外の議案については、表決（賛成、反対の意思表示）権はありません。

決算特別委員長報告

野畑 直委員長

H29年度 一般会計決算



※委員会と本会議の審査結果は異なる場合があります。

平成29年度決算について、10月2日から10月5日までの4日間、市長と所管課への質疑を行いました。その後討論を行い、一般会計はそれぞれ1名の反対討論と賛成討論がありました。採決の結果、賛成多数で認定すべきものと決しました。国民健康保険・簡易水道・交通災害共済・介護保険・後期高齢者医療特別会計と、水道事業会計については全委員の一致をもって認定すべきものと決しました。

主な質疑と答弁

有害鳥獣捕獲事業

委員 補助金等の不正受給が判明した。補助事業の内容等を再検討する必要があるが、いつまでに結論を出すのか。

課長 事業で廃止できるものは廃止する。支払い先は一般社団法人いかくらではなく、個人に支払えるものは個人に支払う。スケジュールは、30年度事業からと考えている。

ふるさと納税

委員 前年度に比べると3分の1ぐらいになっていく。総務省の通達で、返礼品が5割から3割に減ったのが原因か。

課長 返礼品の返礼率を11月から3割にした。少額の寄附が増えたこともあるが、私どもの努力不足と反省している。



改修前の寺島宗則邸

映画「かぞく」

委員 試写会が11月23日に予定されている。市民と市在勤・在学者も対象だが、市民を優先することは一切ないのか。

課長 応募された方を機械的に抽選する形になると考えている。

ボンタンロードレース

委員 大会のファミリー参加費が5、6千円になる。参加賞は1つにして参加料金を下げたほうがいいという声も聞くが。

課長 実行委員会に諮り、ファミリーで、大人が2人以上参加される場合は、大人の2人目は千円値引きすることに決まった。

市長への総括質疑

寺島宗則邸

委員 寺島宗則邸の再建については、ふるさと納税で全て賄うということではなかったのか。

課長 企業版ふるさと納税を活用すると考えていたが、大変厳しい状況である。県の地域振興推進事業や魅力ある観光地づくり事業の要望を考えている。寄附金の目標額が達成できない場合は、事業の見直しを前提とし、必要な部分については地方債の活用や基金の活用も考える必要があると思う。

総務文教委員長報告

大田 重男委員長

阿久根市地方活力向上 地域における固定資産税の 不均一課税に関する条例改正



主な質疑と答弁

委員 市にはこの条例に該当するような施設はないとのことだが、どんな事業所が該当するのか。

課長 市内の一定の区域で本社機能を拡充するような場合に対象となる。

川内原発継続稼働に関し 市民の民意を問う 住民投票条例



主な質疑と答弁

委員 提案者は公費節約のため県議・市議選等と併用で住民投票を行いたい旨の話がされたが、純粹に住民投票だけを行いたほうが本場の真意を問う数が確実に分かると思うが。

提案者 事故は待つてはくれない。常日頃から住民の意向を聞くべきだ。

提案者 私が言ったのは、単独でやれば740万円かかり、一緒に行くと150万円かかるという差であり、いろんな市民から節約できるのではないかという意見もあるのを考えて提案理由で言ったもので、この条例自体で縛っているわけではない。

委員 九州電力が明確に何年継続などの発表をしたときに条例を出したほうが市民にもわかりやすいと思うが。

議員定数等について、9月25日の本会議で当委員会に付託されて以降、計5回の委員会を開催し、審議してきました。

12月26日の委員会では、議員定数についてはそれぞれの委員から意見を申し出てもらい、討論、討論の後、採決を行った結果、賛成多数で削減すべきものと決定しました。

さらに何名削減するかについて討論を行い採決した結果、1名削減すべきとの結論に至りました。このほか、議員定数の減に伴う委員会構成については、産業厚生委員会を8名から7名に改正を行うべきと決しました。

委員からの主な意見

他市議会の状況に関する資料、区長を対象としたアンケート結果を参考に

現状維持

- ・もう少し時間もかけて議論すべき。現状維持。
- ・ある程度の議員数が必要。現状維持。

1名減

- ・現時点での協議はパフォーマンス。現状維持。
- ・あまりに急で議論が足りない。現状維持。
- ・標準財政規模との関係から15名を提案。
- ・多くの削減は避けるべき。1名減を主張する。
- ・区の役員会等で意見を聞いた。1減の15名で。

2名減

- ・定数2減でも運営は可能。表決にも向く。
- ・定数2減しても十分議論等はなされる。
- ・削減する時期に来ていると思う。2名減。

減だが減数不提案

- ・現状維持では住民が納得しない。14名で。
- ・財政状況等の似たところに合わせ減にすべき。

市議員選挙(4月)を前に～ 有権者も知っておきたい 政治家の禁止事項 ～

1 政治家からの寄附禁止

選挙の有無にかかわらず、政治家が選挙区内の人に寄附を行うことは、名義のいかんを問わず特定の場合を除いて一切禁止されています。有権者が求めてもいけません。冠婚葬祭における贈答なども寄附になるので注意してください。

結婚祝※ 	地域の運動会・スポーツ大会への飲食物等の差入 	お祭りへの寄附・差入 
町内会の集会・旅行等の催物への寸志・飲食物の差入 	みんなで徹底しよう 三ない運動 贈らない 求めない 受け取らない これらのものも、政治家の寄附禁止の対象となります。 	落成式・開店祝等の花輪 
病気見舞 	お慶喜・お年賀 	
入学祝・卒業祝 	葬儀の花輪・供花 	香典※ 

2 「時候の挨拶・当選御礼の挨拶」にも制限が！

政治家が選挙区内にある者に年賀状や暑中見舞い状等の時候の挨拶を出すのは「答礼のための自筆によるもの」以外は禁止されています。

また、当選に関し、有権者に挨拶する目的をもって、戸別訪問すること、文書図画を頒布または掲示すること、広告すること、当選祝賀会その他の集会を開催すること等も禁止されています。

※政治家本人が結婚披露宴、葬式等に自ら出席してその場で行う場合は、罰則が適用されない場合があります。
総務省ホームページ／選挙制度研究会「地方選挙の手引き」より

使用済みインク・トナーカートリッジを集めて教育費を贈ろう！



阿久根市議会有志15名のボランティアグループは、使用済みインク・トナーカートリッジを集めて学校に贈る活動を行っています。

インクカートリッジは1つで5円相当、トナーカートリッジは50円相当の学校機材購入費になります。

12月、千円分のインクカートリッジを阿久根中学校にお届けしました。捨てればゴミ、生かせば教育費に生まれ変わります。市役所1階相談窓口回収箱を設置しています。皆様のご協力をお願いします。



各議員が市政を問う

一般質問

平成30年第4回定例会では、8名の議員が一般質問を行いました。

【質問者】
(質問順)

- ① 渡辺 久治 議員
- ② 西田 数市 議員
- ③ 白石 純一 議員
- ④ 大田 重男 議員
- ⑤ 竹原 信一 議員
- ⑥ 竹原 恵美 議員
- ⑦ 山田 勝 議員
- ⑧ 仮屋園一徳 議員

掲載内容については、それぞれの議員が行った一般質問の主な項目についての質問と答弁の要旨であり、質問者がまとめ、広報広聴委員会が編集したものです。

一般質問動画の視聴について

議員写真の左下にある二次元コードをスマートフォン等で読み取ると各議員の一般質問をYouTubeで視聴できます。

視聴の際はデータ通信料が発生する場合がありますので御了承下さい。

寺島宗則 ポスターの活用は

周知方法として十分有りうる

渡辺 久治 議員



動画視聴

渡辺 寺島プロジェクトの発起人でもある三反園知事が旧家を訪問された。知事の意気込みは。
市長 松木家当主から話を聞き理解を深められた。今後の県補助事業等活用に向けて、県に対して要望活動を進めて行く。
渡辺 プロジェクト寄附額に係わらず、この歴史的価値は計り知れない。

補充的な財源の歳出もやむを得ないので。
市長 寄附金が目標額に達しない場合、事業の優先順位を決め必要な部分については地方債や基金の活用も考える。
渡辺 市民の方々は寺島宗則についてまだまだ関心が薄い。彼自身に興味を持ってもらうために、この(右写真)ような類のポスターを市内の要所要所に掲示してみたら。
市長 ポスターの掲示は周知方法の一つとして十分考えられる。デザインについては色々な意見を聞きながら決定する。



私が提案したポスター案

浄化槽補助制度について

渡辺 単独浄化槽の撤去は面倒で困難な工事だ。汚水処理人口比率を上げるために、単独浄化槽から合併浄化槽への上乗せ補助金を現行の倍程度に増額を提案するが如何。
市長 現在、国及び県が単独浄化槽から合併浄化槽への転換を促進するための施策を打ち出す予定と聞いている。まず、その動向を注視していく。
渡辺 住民の皆さんが利用したくなるような制度の見直しをお願いする。

不登校 居場所作り事業 問題は

出席扱いにできれば
利用増に

西田 数市 議員



不登校児童・生徒の居場所
となっている施設

西田 不登校児童・生徒が26人いるが、居場所づくり事業の利用者が1名と少ない。問題は。

福祉課長 様々な要因が考えられるが、学校からの意見では、出席日数に含めることができれば利用者も増えるのではないかとのことである。

西田 出席日数にできるような対応が必要と思うが。



動画視聴



教育長 出席扱いにできるかどうかについては検討しているところである。

災害時の二次避難所を

西田 乳幼児、障がい者等の支援、また単身女性、母子世帯の性被害を防ぐため避難施設を振り分ける必要があると思うが。

市長 要配慮者などの多様な意見を取り入れたペースの割り振り、避難者等のニーズに応じた振り分けが想定され、多様な避難所の確保に努める。

西田 ペット受け入れ可能な避難所の設定は。

市長 ペットとの同行避難所の開設についても検討しなければならぬ。

いから 事業執行は

西田 いから阿久根の30年度事業執行はどのようになっているか。

市長 団体の適正な運営が実施されることを確認した後に、事業の執行を行っていきたい。

西田 いから阿久根の会員大会で、弁護士2名、ガードマン2名。何のために依頼されたのか、市は知っているか。

市長 承知していない。

宿舎選定 失格者 不当優遇では

想定外
夢あるウェルネス*を

白石 純一 議員

*ウェルネス：より積極的に健康を目指し発展させる生活行動



大都市、香港のHKR社富裕層向け住宅開発は国際空港やディズニーランドに至近。阿久根の参考になるだろうか。

白石 宿舎選定では、市内業者を正當に扱わず、失格者を不当優遇では。

市長 市内業者を正當に扱わなかったのではない。

白石 H K Rの計画は。

財政課長 期待したが、提出されなかった。

白石 (公募規定の)書類審査の結果は通知したか。

財政課長 書類審査はし



動画視聴



なかった。優先交渉権者は存在しないとの扱いだ。

白石 業者に結果は。

財政課長 選定結果は応募業者に通知していない。

白石 真摯に応募の市民業者に感謝も結果も伝えず、ふさわしい行政か。

市長 やむをえない。

白石 H K Rは書類未提出、要件無視しプレゼンさせるも具体的提案はない。失格者が未提出だから同じ条件にと、提出者の提案書は委員に配らず。市民に規則を守らせる行政自らがルールを守っていない。問題ではないか。

副市長 想定外だった。

夢あるウェルネスというトレンドを捉えた業者と汗をかく方が市のためだ。

白石 H K Rのプロジェクトは実際に観たか。

市長 観た所はない。

白石 私はバンコクのホテルと香港の開発を訪ねたが、後者は空港・デイズ二ー至近で、他も実績は大都市。地方観光開発実績ない会社と協定なぜ。

市長 会社からの話で開発の知見持つと判断した。

その他の質問

・情報公開条例を市が遵守せず、杜撰過ぎないか。
・交流センターは、市民・市外業者同料金でよいか。

大川中学校閉校後の 利活用は

地域の諸関係団体と協議

大田 重男 議員



現在70年の歴史がある大川中学校



動画視聴



大田 現在中学1年生が、また来年4月から大川小学校を卒業する子供たちが阿久根中学校に通学するわけだが、今現在、保護者の方々が通学のための送迎に苦労されている。来年4月から通学の交通手段を検討できないか。

市長 平成32年4月から実施する方向で調整が進んでいるところである。

大田 引き続き、通学支援策の実施時期や方法等は保護者と協議を進めていく。

大田 大川地区で閉校に向けて、閉校式・記念式典の実行委員会を立ち上げていくわけだが、市としての考えは如何か。

市長 市としてもできる限りの協力や支援を行うつもりである。今後、具体的な要望等が出された時点で検討していきたい。

大田 閉校後の学校跡地の利活用を示してほしいが。

市長 今後、地元の方々と協議していきたい。

大田 ある程度は市として

大田 閉校後の学校跡地の利活用を示してほしいが。

市長 今後、地元の方々と協議していきたい。

大田 ある程度は市として

ての方向性も示すべきだと思ふ。大川地区を賑わすためにも、テレワーク施設等を立ち上げること必要だと思ふ。

通信インフラ整備

大田 市内で光ファイバーの空白地域を教えて。

市長 空白の地域は大川地区と伺っている。

大田 阿久根市も移住定住促進事業を行っているわけだが、市内全域を網羅する必要があると思ふ。

その他の質問

・河川の寄り洲の除去

専決損害賠償 状況説明を

原状回復作業中に生じた

竹原 信一 議員*

*同議員は12月16日付で自動失職しました。



名、ペンキ散らかして60万ほどの損害賠償。仕事にハタクンすぎる。

せないからこんなことになる。

交流センター維持費

中国進出でだまされたが

竹原 専決の「ガードレール塗装で」塗料が車両に飛散し損害賠償」について状況説明を求める。

市長 茶褐色塗装の原状回復作業を職員9名で行った。その作業中に生じた。

竹原 維持費は毎年の3千万円だけで済むのか。

市長 機器の修繕、取り替え等の将来的に大きな予算を伴う改修計画も想定している。

竹原 中国進出した多くの企業がだまされたのを知っているか。

市長 経済・文化・歴史観等の違いで撤退された企業もあることはマスコミの報道等により把握している。HKRとの相互連携を丁寧かつ着実に進めたい。

竹原 あそこは私が一人でさび止め塗りをした。ほかには迷惑をかけていない。君たちの仕事は9

竹原 舞台装置点検に毎年324万円。音響照明に205万円。前の市民会館では0に近い数字だった。設計業者にすればこんなおいしい役所はない。能力が有る人に任

竹原 中国の事を知らずにやるのはマンホールの蓋が開いた道を新聞読みながら歩くのと同じ。



動画視聴



竹原 中国進出した多くの企業がだまされたのを知っているか。

市長 経済・文化・歴史観等の違いで撤退された企業もあることはマスコミの報道等により把握している。HKRとの相互連携を丁寧かつ着実に進めたい。

竹原 中国の事を知らずにやるのはマンホールの蓋が開いた道を新聞読みながら歩くのと同じ。

学校の合理的配慮 当市の対応は

指導・支援をしている

竹原 恵美 議員



竹原 学校の合理的配慮の対応は。

教育長 障害のある子供が困難を除くための個別の調整や変更であり、保護者等と合意形成を図って提供することが望ましい。学校が他の学校と同じ対応をしようとすることは、マイナスの動きであり、今はそのような時代ではない。考え方を

変える必要があり、学校に指導・支援をしている。

竹原 学校でなされた合理的配慮は高校入試の際にも適応されて他の児童と平等に受験できるようになる。学校での合理的配慮を進めて頂きたい。

竹原 教育支援計画は作られているか。

教育長 幼児期から学校卒業後まで一貫した支援を行うために作成されるもので支援を必要とする児童・生徒全てに保護者の参画のもと作成されていると考えている。

竹原 保護者が参画して作成し、相談時に変更し

ていくべきものだが先生が一人で作成し相談時にも活用されていない。指導をお願いする。

スポーツ少年団活動への 使用料減免のあり方

竹原 減免に関する予算・運用は適正か。

財政課長 阿久根市では全ての減免を財政課が把握している状況にない。

県では毎年全ての使用料のコスト計算を行い、適正であるか査定を行う。

市長 減免のあり方は課をまたいで協議し、応分の負担を原則に検討する。

梶折鼻公園入り口 県と協議は

要望中
事業化に向けて進める

山田 勝 議員



梶折鼻公園から望むことのできる
日本三大急潮の一つ 黒之瀬戸

山田 1月29日、県議4人と県北薩地域振興局出水事務所、市都市建設課が現地調査をし、私が現状を説明した。振興局の課長は早速取り組む旨の約束をされたが、その後の進捗状況は。

市長 県との各種会合の中で市の要望の一つとして意見交換や現地調査を行っている。今後も県と

十分連携し、事業化に向けた検討を進めていく。

山田 市長の情報と私の知り得た情報とはかなりの差がある。私も相当なアプローチをしている。

先に北薩地域振興局と都市建設課で現地調査をしたという事実を市長も知っているはずだが、何でその結果を言わないのか。

都市建設課長 先月19日の現地調査の中で、県と協力して交差点改良の調査を今後進めていくことを話したところである。

市長 答弁が不足しており、申し訳ございません。

山田 観光バスが入れる

ようになったら北薩屈指の観光地になる。県が予算をつければ、阿久根市もつけるか。

市長 県の意向がはっきりすれば精一杯やりたい。

乗合タクシー対象地区と その他地区の負担公平に

山田 乗合タクシーは200円の負担で喜ばれているが、その他の地域との差があり公平でない。

国の制度ありなしに関わらず、利用する市民は同じ。検討を始めてほしい。

市長 意見を集約しながら取り組んでいきたい。



動画視聴



動画視聴





動画視聴



仮屋園 少子高齢化が進む中、生活環境が変化し、住民の意見、要望は多様化している。そこで市民まちづくり百人委員会での意見は予算や政策にどう反映されたか。また各集落での市長と語る会の中で出た提言、要望を今後の市政にどう生かすか。

市長 百人委員会は5分科会で市政への提言をま

百人委員会 予算に反映したか

事業費で5億8千万円を計上

仮屋園 一徳 議員

とめていただいた。65項目、事業費として約5億8千万円を予算計上し、市政運営に生かしてきた。また、市長と語る会での意見、要望については規定予算や補正予算で対応している。市民の意見、要望については、内容の整理を行い、できる、できない理由等も丁寧に説明し対応していく。

運動公園への案内板設置

仮屋園 近年、高速道、紫尾トンネル等の開通により3号線以外の道から(鶴川内方面)の車両が



運動公園 どちらに誘導
(オレンジロード
出水方面からの阿久根市入口付近)

その他の質問

- ・ 協本海岸駐車場確保を
- ・ 共同水道管理移管は
- ・ 入会林野整備調査を
- ・ 県道脇本赤瀬川線の改修要望活動は

多く、体育館がわかりにくいとの声がある。主要な交差点へ案内板設置はできないか。

教育長 問い合わせ等があった場合は一旦国道3号へ出ることを勧めている。しかし、このルートを利用される方が多いことから、近隣住民の生活環境にも配慮し、設置する方向で準備を進める。

主な議会・委員会活動(11月～1月)

11月

- 1日 議員定数等調査特別委員会
- 9日 議会運営委員会 議員全員協議会
- 21日～22日 本会議(提案説明) 議員全員協議会
- 21日 本会議(一般質問)
- 21日 広報広聴委員会
- 26日～27日 総務文教委員会
- 28日 議員定数等調査特別委員会
- 29日 産業厚生委員会
- 4日 議会運営委員会 議員全員協議会
- 12月 本会議(表決等)
- 14日 広報広聴委員会
- 14日 議員定数等調査特別委員会
- 26日 広報広聴委員会

1月

- 7日 議会運営委員会
- 9日 広報広聴委員会
- 10日 議会運営委員会
- 17日 議員全員協議会
- 18日 本会議(臨時会)
- 23日 産業厚生委員会
- 25日 議会と語る会
- 25日 出水地区市町議会 議員研修会
- 28日 議会運営委員会
- 29日 広報広聴委員会

二次元コードでのアクセスの仕方

それぞれのスマートフォンでアプリを起動し(右写真)、二次元コードを読み取る(左写真)とインターネットのページにアクセスできます。



Android



iPhone

語る会

12地域でも活発に

各地域では10月に12か所で開催。女性の参加者も多く、教育などで幅広い意見が出されました。



今回は女性の参加者も多く見られました

議員と語る会は市内12か所、総数191名の参加者で開催されました。昨年より25名の参加者増、特に女性の参加が昨年より大幅増の24名あり、教育・福祉問題など女性の視点を行政に届けて参ります。

- ◎10月21日
 - ・阿久根北 9名
 - (コミュニティ新町)
- ◎10月22日
 - ・折多 29名
 - (折多小学校)
 - ・隼人 10名
 - (小漣公民館)
 - ・田代 9名
 - (山村開発センター)
- ◎10月23日
 - ・山下 17名
 - (新城公民館)
 - ・尾崎、弓木野 17名
 - (尾崎公民館)
 - ・脇本 19名
 - (脇本地区公民館)
- ◎10月24日
 - ・西目 13名
 - (高之口公民館)
 - ・鶴川内 12名
 - (鶴川内地区集会施設)
 - ・大川 18名
 - (大川小学校)
- ◎10月26日
 - ・阿久根南 22名
 - (大丸公民館)
 - ・赤瀬川 16名
 - (農村改善センター)



今年度中に調査に取り組む阿久根高校跡地

主な質疑への市からの回答は次のとおりです。

旧国民宿舎ほか公共施設

問 旧国民宿舎の整備

答 平成29年9月から30年1月まで事業者の募集を行ったが、事業者選定に至らなかったことから、今後民間事業者と観光開発の可能性を検討、調査していく。(財政課)

問 阿久根高校跡地はどういう状況か。

答 旧国民宿舎跡地活用の内容と競合せず、相乗的な効果になるような事業を策定していく予定だったが、国民宿舎跡地事業者が選定できなかったことから、具体的な検討が進んでいない。現在、建物の現状や利活用に耐え得るか、一定の利活用を想定した改修事業費の概算等の調査に今年度中に取り組む。(財政課)

問 図書館建設が後回しにされていると感じる。雨漏りもあるようで、建設を進めて欲しい。

答 実施設計まで策定済みであり、建設に要する財源等を含めて検討したい。(生涯学習課)

問 市民交流センターに愛称の必要性あったのか。なぜ市外の応募者に決定したのか。

答 市内外の多くに長く親しまれることを目的に愛称を付けた。市民による投票で決定した。(生涯学習課)

空き家等対策

問 空き家バンクはどうなっているか。

答 宅建・不動産事業者と協定締結し、11月から空き家バンク制度を開始、ホームページ等で情報提供を行う。利用希望者があった場合、事業者の仲介協力を得て有効活用を図っていく。(企画調整課)

若手・女性グループが

議員と

農業・漁業・観光・商工業者の現役若手世代、女性の街づくり団体、高校生が議員と議論を繰り広げました。

「若者が、阿久根に住み、働き、家庭を持ち、子育てするために何が必要か。」をメインテーマに、若手、高校生、女性の団体等から約40名と議員との語る会が1月に開催され、グループに分かれたワークショップ形式で以下のとおり活発な意見が出されました。主な意見をご紹介します。



若手・女性、高校生が積極的に議員とのグループワークショップ

参加団体は、北さつま漁協青壮年部、農業青年クラブAGRS、商工会議所青年部、青年会議所、観光連盟、Team華女、鶴翔高校。

あなたにとって

問① 一番生きがいを感じる時は

- ・ 子育て、家族の幸せ
- ・ 仕事の成功、大漁豊作
- ・ 試験、部活で目標達成
- ・ 美味しいものを食べる

問② 一番困っていることは

- ・ 人手不足
- ・ 交通手段
- ・ 所得、こずかい
- ・ 売上減、伸び悩み

阿久根にとって

問③ 強みは

- ・ 自然の景観、海、山、田畑の食資源
- ・ 地域の結びつき、伝統文化、歴史

問④ 弱みは

- ・ 後継者不足、人口減少
- ・ 交通インフラ
- ・ 情報発信力不足
- ・ 一体感の欠如

問⑤ 将来のチャンスは

- ・ 西回り道開通
- ・ 観光、インバウンド
- ・ 6次産業化推進とそのための高等教育
- ・ あくねブランドの確立

問⑥ 将来の危機は

- ・ 少子高齢化に拍車
- ・ 西回り道で空洞化
- ・ 漁獲、収穫高の低迷
- ・ 廃校

メインテーマ解決の方策

- ・ 人手不足解消に人材バンク制度(農閑期に漁業、休漁時に農業手伝い等)
- ・ 農業漁業のコラボ
- ・ 女性の人材育成、活用
- ・ Uターン促進策を
- ・ 若者の挑戦支援
- ・ 食と自然の観光資源を積極活用
- ・ 個別指導で子供の学力向上を
- ・ 施設や農地の集約を

害獣駆除

問 イノシシ駆除を。

答 電気柵、侵入防止柵の設置に補助事業がある。相談頂きたい。(農政課)

答 被害を連絡頂ければ、被害個所の確認後、阿久根市、脇本の各有害鳥獣捕獲協会に指示し、捕獲を行う。(水産林務課)

教育

問 学校の統廃合を市は検討しているか。

答 教育委員会で学校規模適正化協議会を組織し、統廃合を含めた学校の在り方について検討している。協議会だけでなく、小規模校を中心とする保護者や地域との意見交換も行っている。今後議論を重ねながら、学校規模の適正化に向けた方針をとりまとめたい。(教育総務課)

福祉

問 市内に障がい者がショートステイできる施設が少ない。近隣市町含めどの程度の受け入れ枠があるか。

答 阿久根市と出水市にそれぞれ2か所、20床程度である。日によって利用者数に変動あるため、満床の場合は他施設への案内を行っている。(福祉課)

環境

問 新たに完成するごみ焼却施設の様子は。

答 全体面積10.5ha、事業費96億円で、2020年度末に完成予定。(市民環境課)

防犯

問 防犯灯LED化の補助は増額できないか。

答 防犯組合連絡協議会が同事業を行っているが、LED化の要望が増えており、要望額が予算を超える状況にあり、どのような対策を行うべきか、市としても検討する。(総務課)

(教育総務課)

(総務課)

昭和44年1月号



昭和53年7月号



昭和63年11月号



市議会の内容を市民に伝える、市議会報は昭和44年1月に発刊され、50年目を迎える節目の今回200号の発行にたどりつきました。

現在、6名の議員（1名欠員）からなる広報広聴委員会（委員長 白石純一議員）が編集作業に当たっています。これからも市民の皆様にはわかりやすく、興味を持てる内容を心掛け、発行してまいります。

50周年、200号に際し、3名の市民の方に、議会について、話を伺ってみました。

議員（議長）経験者、初めて選挙権を得た18歳の高校生、現役の働き盛り世代、それぞれに少し違った角度からと、共通

して、これからの議会に期待すること等を聞いています。これからも多くの市民の声を聴く議会に努めます。



京田 道弘

きようだみちひろ 74歳 農業委員、JA役員を経て議員へ。4期15年の議員活動、議長を最後に勇退。脇本瀬之浦に夫人、同敷地内の長男夫婦・孫3人の3世代で暮らす。目下の楽しみは孫の成長。

議員時代、最も印象に残っていることは

議長として、当時の市長への不信任決議可決が印象深い。当市はかつて国立療養所を巡って議会のリコールもあったように、市政改革の機運高い土壌なのか。対立の長期化は避けたかったです。

議会だよりで一番興味を持って読むところは

傍聴になかなか行けないので一般質問、議決表は必ず目を通します。

写真やイラスト、大きな見出しは読みやすい。

これからの議会に求めることは

市のシンクタンク集団といえる市職員とのコミュニケーションを密にし、議会の提案機能、市民サービスの向上に生かすことにも腐心してもらいたい。市長・副市長・教育長の3役と、職員、議会の三位一体で頑張ってください。

2019



平成31年
〇〇元年

2010



平成22年

2000

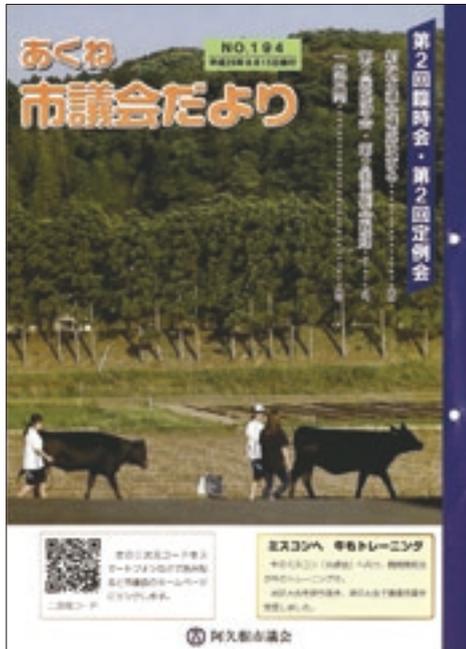


平成12年

平成29年 8月号

平成26年 5月号

平成14年 8月号



洲崎 篤
すさき あつし 45歳
高校卒業し倉津で父に従い漁師に。兄含む3人が乗り組む智美丸で、うるめいわし、タカエビ、さびなご、ウニ漁に出る。大学生2人の父親。水産資源の枯渇に気を揉む。

議会だよりで一番興味を持って読むところは
討論や議決結果表で、どの議員がどういう主張をして、賛否どちらなの

に
見出しと写真でも内容が伝わり、読んでみようかとも思いますが。文字だけのページだとちよつと・・・笑

18歳で選挙権を得てどうだった
大人に近づいたのかなと感じました。それまでは選挙のことは考えたことなかったから。12月の市長選が初めての投票でしたが、両親と相談し誰に投票するか決めました。

これからの議会に求めることは
議員の皆さんには、選挙の時だけじゃなく、もっと市民との接点を増やして意見を聞いて欲しい。そして話だけで終わりにじゃなく、継続して実行いただくことを期待しています。

岩下 千花
いわした ちか 18歳
東京育ちで、高校から両親とお母さんの故郷、阿久根の山下へ。4月からの大学生活は東京で心理学を学ぶ。東京時代の友達と過ごせるのも楽しみ。鶴翔高校3年。



議会は身近? 少し遠い? かなり遠い? 存在
自分には少し遠い存在。知っている議員も多く、世間話はするが、市政の話まではしない。市政のこと、まちのことを話す機会を頻繁に作ってもらえれば、もっと身近になるかな、と思います。

これからの議会に求めることは
高校生にも市議会がどういうことをしているか、もっと判りやすいように伝える機会を増やしてもらえれば、距離も縮まると思います。

これからの議会に求めることは
高校生にも市議会がどういうことをしているか、もっと判りやすいように伝える機会を増やしてもらえれば、距離も縮まると思います。

これからの議会に求めることは
高校生にも市議会がどういうことをしているか、もっと判りやすいように伝える機会を増やしてもらえれば、距離も縮まると思います。

クイズ from 議会だより

この議会だよりの内容から出題されるクイズにチャレンジしてみませんか。
 解答はこの議会だよりの中にあります。よく読んで、答えを見つけてみて！
 正解者の中から5名様に商品券（2,000円）が当たります。

- Q1** 阿久根市議会議員の新たな定数15名は、今年（ ）月の市議選から適用されます。
Q2 議員と語る会は、団体と語る会以外に、市内（ ）か所で開催されました。
Q3 「お祭りへの寄付・差入は政治家からの寄付禁止事項である」は、○か×のいずれでしょうか。

〈応募内容〉

- ① Q1、2、3の答え
- ② 議会だよりへの感想か市政へのご意見・ご要望
- ③ 住所・氏名・性別・年齢・電話番号をお書き頂き、右記のいずれかの方法で応募下さい。

*ご感想・ご意見・ご要望は誌面でご紹介させていただきます。

〈応募方法〉

- ・ハガキ： 〒899-1696
阿久根市鶴見町200番地
阿久根市役所議会事務局宛
- ・FAX： 0996-72-2029
- ・メール： gikai@city.akune.kagoshima.jp

〈応募資格〉

阿久根市民に限ります。

〈応募締切〉

平成31年3月31日
ハガキは当日消印有効

そうだ、議会に行こう！



傍聴席は市役所4階になります。

市議会は、市の予算や施策について話し合い、決定する大切な場所です。ぜひ傍聴にお越しください。

議会傍聴に来られない方は、市役所ホームページ内、市議会ページの議会中継、中継録画をご利用下さい。

議会生中継への二次元コードはこちら →



中継録画への二次元コードはこちら →



学校の社会科見学やPTA、各種団体等の研修でも傍聴できます。
会議録は市役所・三笠支所・大川出張所・図書館で閲覧できます。

発行責任者	議長	木下 孝行
広報広聴委員会	委員長	白石 純一
	副委員長	渡辺 久治
	委員	西田 数市
		飯屋園 一徳
		濱崎 國治

(委員 飯屋園一徳)

天皇譲位により2019年5月から新たな元号となりますが、改元号も気になるところです。近年の元号は明治、大正、昭和、平成であり、これまで200以上使われてきた元号で昭和が一番長く64年間、次いで明治の45年です。平成30年間は災害が多く、7年の阪神淡路大震災、23年の東日本大震災、28年の熊本地震、そして30年の西日本豪雨災害と大きな被害が相次いで発生し多くの方が犠牲となりました。新たな元号世代には、平穏が永く続く時代の流れであってほしいと願います。

編集後記